

スラッジ処理装置

水分含有の廃油を約 1 / 4 まで減容を実現！

(諸条件により変わります。)

清浄機(遠心分離機)より排出されるスラッジには多量の水分が多く含まれており、それらを長期に保管するには大容量のオイル・ビルジ・コレクター(廃油タンク)が必要ですが、本装置を使用してスラッジ(廃油)に含まれる水分を減容処理することにより、廃油陸揚頻度の減数及び陸揚げ費用の節減効果が大いに期待出来ます。

本装置の処理方法としては本船の運用に合わせて下記の3通りが選択併用が可能です。

蒸発分離方式(水分のみを蒸発 大気放出)

セツリング方式(スラッジを加温静置し分離した水分のみ排出)

カスケード方式

(加温しながらスラッジをゆっくりスラッジをシフトしオーバーフローさせる事により分離)

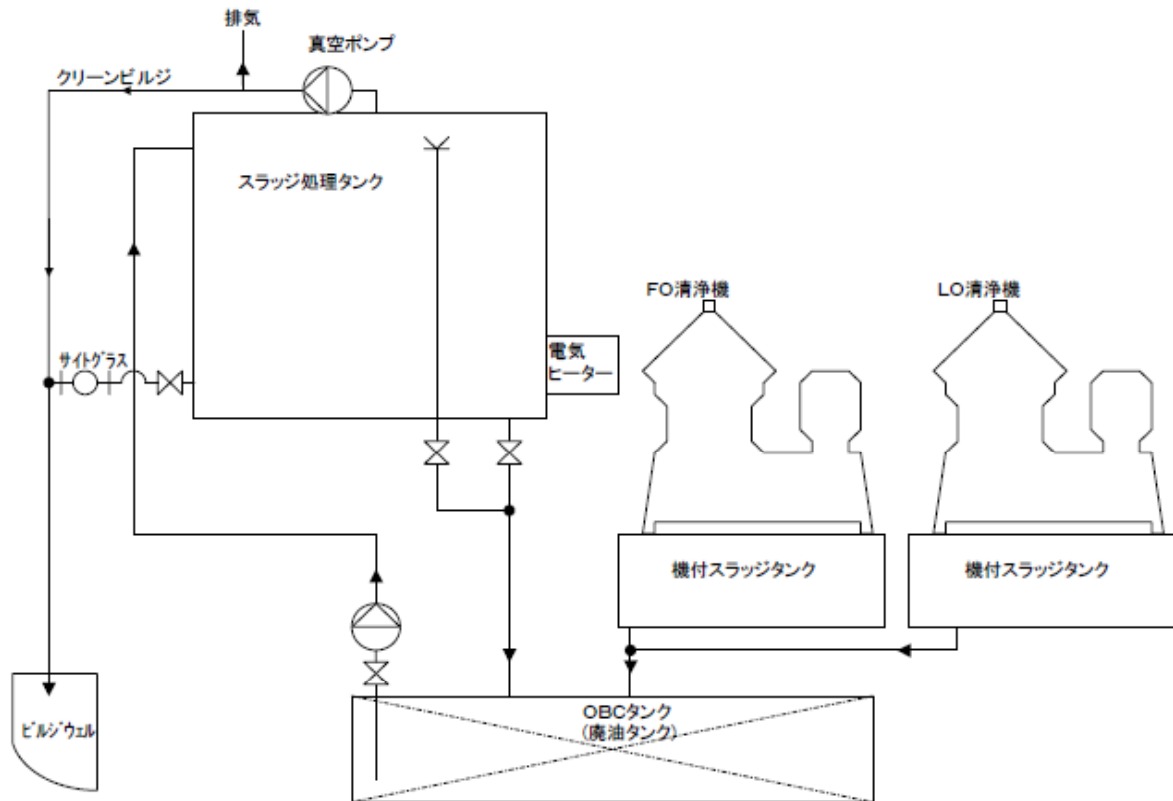
分離させた水はクリーンビルジとしてビルジウェルに落とし油水分離器にて船外排出とします。

水分含有率の高いビルジも処理する事により油水分離器稼働軽減等で部品代の節約、乗組員殿の労力軽減が出来ます。



装置仕様

型式	ESS-500 (角型)	ESS-R200 (丸型)
処理タンク寸法	1000 × 500 × 1000H	約510 × 約1760H
処理タンク容量	約480L	約200L
電源	AC440V or AC220V 3	
電気ヒーター	5kW	
真空発生装置	0.75kW	
蒸発量(水分減容量)	3 ~ 5L/H	



昌永産業株式会社

山口県下関市東大和町2-13-22

TEL 083-266-2105

FAX 083-267-9517

e-mail yamamoto@shoei-jp.com